

2024年7月3日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

## 【繊維・紙・パルプ】他社牽制力ランキング 2023

### トップ3は東レ、東洋紡、王子HD

弊社はこのほど「繊維・紙・パルプ業界」の特許を対象に、2023年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「繊維・紙・パルプ業界 他社牽制力ランキング 2023」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2023年に最も引用された企業は、1位 東レ、2位 東洋紡、3位 王子ホールディングスとなりました。

#### 【繊維・紙・パルプ業界 他社牽制力ランキング 2023 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	東レ	1,474
2位	東洋紡	568
3位	王子ホールディングス	437
4位	帝人	398
5位	大王製紙	313
6位	ユニチカ	272
7位	日本製紙	178
8位	三菱製紙	153
9位	3M(米)	145
10位	グンゼ	130

#### 【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2023年12月までに公開された全特許のうち、2023年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2024年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **東レ**の最も引用された特許は「圧電性に優れた圧縮性ポリオレフィンフィルム」に関する技術で、三菱ケミカルの計5件の審査過程で引用されています。このほかには「コンデンサ用二軸配向ポリプロピレンフィルム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、東洋紡の計4件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、東レの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三菱ケミカル(54件)、次いで東洋紡、富士フィルム(いずれも40件)となっています。

2位 **東洋紡**の最も引用された特許は「膜分離技術を用いて低エネルギーでブラインを濃縮する、海水淡水化処理用のブラインの処理方法」に関する技術で、東洋紡エムシーの計6件の審査過程で引用されています。このほか「ポリエステル包装材料」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、大日本印刷の計5件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、東洋紡の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は東洋紡エムシー(60件)、次いで三菱ケミカル(29件)です。

3位 **王子ホールディングス**の最も引用された特許は「エッチング耐性に優れたパターン形成用材料」に関する技術で、キオクシアなど計3件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2023年に、王子ホールディングスの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は大王製紙(31件)、次いで日本製紙クレシア(25件)となっています。

4位 **帝人**は「非水系二次電池用セパレータ」、5位 **大王製紙**は「防湿紙を用いた包装用紙」が、最も引用された特許として挙げられます。

\* \* \*

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

## 【繊維・紙・パルプ業界 他社牽制力ランキング 2023データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円(税抜)

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : [info@patentresult.co.jp](mailto:info@patentresult.co.jp)